

ぎふ まち  
岐阜の街

ウィーンの如く

おとたの  
音楽し

作：音楽総監督 平光 保

## 私と音楽

ピアノ伴奏者 田本 将也

私がピアノを始めたのは幼稚園の頃、幼稚園にピアノを弾きに来てくれる方がおり、そこで聴いたベートーヴェンのくエリーゼのために>に感動し、自分もこの曲を弾きたい!と思ったのがきっかけです。音楽は人の心を動かすことができます。世の中にはたくさんのピアニストとよばれる方がいますが、同じ曲を弾いても弾く人によって表現の方法が変わってきます。音楽表現には正解がなく、作曲家が作った曲を通して自由に自分を表現ができます。私が曲を演奏する際に大切にしていることは作曲家の表現したかったものを楽譜から読み取ったうえで自分を表現することです。場所、気持ち、など演奏する状況が変わると表現も変わってきます。人によって表現が変わる、と述べましたが同じ人が演奏しても表現が変わる。そんなところが音楽の良さだと思います。

私は今、音楽大学で音楽を学んでいますが、お客さんの前で演奏する機会はとても貴重です。日々の練習、レッスンなどで成長していくのはもちろんですが1番成長するなど感じるのはコンサートなどでお客さ

んの前で演奏した時です。そんな機会を増やしていくために、大学で音楽を学んでいる仲間たちと、Musica Inventio というグループで演奏活動をしています。そのコンサートが9月24日にあります。このコンサートは私と同じ大学の友人の2人で行います。ラフマニノフピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキーピアノ協奏曲第1番という誰もが一度は聴いたことあるであろう有名曲を取り上げ、協奏曲というピアノとオーケストラで行うものを二台ピアノで表現します。ぜひご来場いただければと思います。

本番に臨む上で大切にしていることはイメージすることです。本番は楽譜を見ずに演奏するので曲を頭の中で演奏したり、難しい部分をどのように弾くかなどを考えています。具体的な演奏のイメージをした上で、本番で演奏している時に感じたことを表現しています。

音楽を言語化することは難しいですが、私が音楽をする際に大切にしていることを書いてみました。たくさんの音楽を聴いて、みなさんそれぞれの音楽を楽しんでいただきたいです。

### 田本将也プロフィール

岐阜県出身。6歳よりピアノを始める。

第32回日本クラシック音楽コンクール第5位。第9回なごや青少年ピアノコンクール大学、大学院生部門第1位。第6回、第10回岐阜ピアノコンクール金賞、第12回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in japan 銀賞。第35回、第36回愛知ピアノコンクール銀賞。

第21回オーディションによる岐阜市新進演奏家コンサート、若き演奏家による音楽団体【Musica Inventio】のコンサートなど多数の演奏会に出演。久米隆司、坂井千春に師事。

岐阜県立加納高等学校を経て、現在名古屋音楽大学ピアノ演奏家コース4年間継続特待生として在学。

## 出逢いのきっかけと連鎖

大垣アルト 國枝郁子

意を決して原稿を書きます。とてもお世話になっている御夫婦にお逢いする機会が有り、今年に入ってから気が沈みがちであることを話しました。御夫婦は、そんな時是非と定期演奏会に誘って下さいました。平光先生との出逢いが有り、その後平光先生のお薦めで各務原にて象列車の絵本の作者の小出先生のお話を聞く機会を与えて戴きました。重い気持ちが不思議な風によって少し吹き飛ばされている事を感じました。大垣練習会場が通い慣れた地で有り、入り口までは進めましたが更に中に入るのにはかなりの勇気を要しました。練習が始まり、まずレベルの高さに圧倒され入団の決断しきれず足踏み状態。そんな時 電話・ラインでの励ましの言葉を戴きました。最近では練習に通い、譜面の音符とカタカナ

の読みを追うのがようやくで、ため息混じりの時、第九を唱えるようになるのには三年はかかるとの小声をキャッチしました。正直少しホッとしました。

譜面から目を離し先生の方へ視線を動かすと先生の全身の動き、目線の輝き、目の動き、手・指先の動きに誘導され思わず声がすごし出ていることに気付きました。これだ！ 初めて先生の指揮に触れ得た感動！70の手習い、何十年も前に触れた譜面に戸惑い鈍い決断力でした。今後は焦らず練習を重ね 1日も早く少しでも早く少しでも長く先生の方に目を向けられる様努めたいと思っています。

今現在このようなワタクシです。どうか皆様よろしくお願い致します。

## 感動と喜び

大垣支部 ソプラノ 大澤 悦子

唄うことが大好きな人たちの集まり、人それぞれ個性があり、高い声、低い声、爽やかな声、深みのある重い声…性格の違い、いろいろな人のあつまりが、美しいハーモニーを作り出す。

神から与えられたすばらしい声の楽器だと思います。

そこに人のこころも加わり、気持ちを入れ込むことによって美しさを表現できるものであり人間関係も同じで、自分を主張するのではなく、相手の気持ちを想うことが、和を求める思いやりではないかと思っています。

合唱は、指揮者によって導き出され、素晴らしいハーモニーとなり、聴衆を感動させます。

日常生活の中で、表現する場所があると言うことは、自分を生かし、生き生きとしたエネルギーを呼びお越します。

その為、この頃、何故か、練習日が近づくと心が躍るようになっていきます。



東山動物園（現東山動植物園、名古屋千種区）の初代園長、北王英一さん（一九〇〇〜一九三三年）が死去してから今年で、三十年となる。太平洋戦争中は動物射殺命令からゾウを守り、各地の子どもたちを運んだ「ゾウ列車」を実現させた。「子どもたちを笑顔に」という思いは、時を経て今の園にも息づいている。（下條大樹）

「北王さんは、戦争中の事を語りついでませんでしたね。それほどつらかったのでしょうか。」二〇一六年まで動物園長を務め、現在は東山公園協会教育普及部長の橋川央さん（左）は振り返る。一九八六（昭和六十一）年、開園五十周年に向け、すでに引退していた名古屋市内の北王さんの自宅で園の歴史について聞いた。

北王さんは、三七（昭和十二）年、東山動物園開園と同時に初代園長に就いた。

◎今年、没後30年を迎える東山動物園初代園長の北王英一さん  
◎1949年、ゾウ列車で来園した子どもら＝いずれも同園提供

# 平和 運び続けるゾウ列車

## 東山動物園 初代園長没後30年



戦後78年

た。園の資料などによると、四年後に始まった太平洋戦争中、空襲で猛獣が逃げ出すのを恐れた国は、全国の動物園で殺処分を命じた。東山動物園ではトラ、ライオン、クマなどが処分された。飢えと寒さでも次々と動物が死んでいった。ゾウも処分対象だったが、北王さんは「ゾウは家畜同様おとなしい。ゾウを

マカニーとエルドが眠る慰霊碑の前で、北王英一さんについて話す橋川央さん＝名古屋千種区の東山動植物園で

### 葉の言

あんたは先生だから、子どもたちに平和を教えるのが任務だぞ

東山動物園初代園長、北王英一さん 1面

殺すなら僕を先に」と抵抗し、アジアゾウの「マカニー」と「エルド」を守った。そうした態度が反抗的と映ったのか、「戦時中、兵隊に動物に関する資料を燃やされた」と悔しそうに語っていた姿が、橋川さんは印象に残っている。橋川さんの調べでは、三百種千匹いた動物が、終戦直後には十八種二千匹しか残っていなかった。

終戦を迎えると、東京の子どもたちから「ゾウを貸してください」との要望が園に寄せられた。二頭は離れるのを嫌がり、高齢だったこともあって、北王さんは国鉄（当時）などに協力を求めてゾウを見にくる全国の子どもたちを乗せて走る「ゾウ列車」を実現。延べ一万人以上の子どもたちに夢を与え、マカニーとエルドは人気者となった。

二〇一一年に十四代目園長となった橋川さんは、新

アジアゾウ舎の「ゾージアム」をオープンさせた。施設ではゾウ列車の歴史を映像や資料で紹介。「ゾウ列車や戦争の事実を後世に残して伝える役割が、東山動物園にはあるから」とこだわった。

園内の動物会館の講座などで、今も子どもたちにゾウ列車について教えることもある橋川さん。「平和だから動物園に皆が楽しみにきてくれる。子どもたちがずっと、笑顔で過ごせる場所であってほしい」と願う。

現在マカニーとエルドは、ライオン舎近くの慰霊碑の下で眠っている。園にとってアジアゾウは特別な存在となり、開園から一度も飼育が途切れていない。二二年には雌のアジアゾウ「つらら」が生まれ、子どもらが笑顔で見ている。北王さんは戦後、園がいろんな動物であふれることを祈っていたという。

「子どもたちを笑顔に」 願い今も

# 9月～11月 練習予定

**準備が先、声は後** 練習時間開始 15分前迄に集まりましょう。

平日 (18:30～20:30)		日曜 (14:00～16:00)
岐阜 (毎回木曜日) 長森コミュニティセンター	大垣 (毎回金曜日) 大垣市南地区センター	各務原 ウィーン岐阜ホール
9月7日 (ぞう列車がやってきた)	9月8日 (ぞう列車がやってきた)	9月10日 (休み) 夢プロコンサートのため
9月14日 (第九)	9月15日 (第九)	9月17日 (第九)
9月21日 (ぞう列車がやってきた)	9月22日 (ぞう列車がやってきた)	9月24日 (ぞう列車がやってきた)
9月28日 (長森コミュニティセンター) (岐阜・大垣) 合同強化練習		10月1日 (休み) (合宿のため)
9月30日(土)～10月1日(日) 合宿 研修 (コージュ高鷲)		
10月5日 (ぞう列車がやってきた)	10月6日 (ぞう列車がやってきた)	10月8日 (ぞう列車がやってきた)
10月12日 (第九)	10月13日 (第九)	10月15日 (第九)
10月19日 (ぞう列車がやってきた)	10月20日 (ぞう列車がやってきた)	10月22日 (ぞう列車がやってきた)
10月26日 (第九)	10月27日 (第九)	10月29日 (第九)
11月2日	11月3日 <b>大垣市北地区センター</b>	11月5日 AM10:00～12:00
11月9日	11月10日	11月12日
11月16日	11月17日	11月19日
11月23日	11月24日	11月26日
11月30日	12月1日	12月3日 AM10:00～12:00

〈日曜教室の時間変更のお知らせ〉 毎月第1日曜日は AM10:00～12:00 に変わります

## 音楽用語解説

- ・アレグレット・程よく快速に
- ・アレグロ……………快速に
- ・アンサンブル……二人以上の演奏者での合唱・合奏
- ・アンダンテ……歩くような速さで
- ・インタアーバル……音程
- ・イン・テンポ……一定の速さを保って演奏する事の指示
- ・エイト・ビート……8分音符が1小節の基本の音符になって構成されるもの

◎ 広報委員への連絡先

・高橋なお子 メール:wien.chorus2021@gmail.com 090-9933-0374

・白木 政春 メール:printshiraki@yahoo.co.jp 090-9924-6137

FAX:058-231-4721